

公益財団法人吹田市文化振興事業団 令和5年度 第2回評議員会

議事録

1 日時及び場所

- (1) 日時：令和6年（2024年）3月27日（水）11時～11時30分
- (2) 場所：吹田市文化会館 1階 **SUITA×ART**（すいたあと）

2 評議員総数（現在数）

11名

3 出席者

(1) 評議員9名

山口浩司（議長）、岡崎明日香、岡本 巧、小野 淳、垣沼絢子、川端純也、
櫻井和子、平山浩美、森 俊弥
（欠席2名 井原広樹、丹羽野和夫）

(2) 理事4名

河内幸枝（理事長）、辰谷義明（副理事長）、古矢直樹（副理事長・事業課参事）、
芦田 稔（常務理事・事務局長）

(3) 監事2名

井田一雄、山本多通男

(4) 事務局3名

内 英幸（次長・総務課長）、日和 香（事業課長）、西尾礼子（総務課主査）

4 議決事項

議案第46号「令和6年度事業計画及び収支予算（案）の承認について」
その他

5 議事の経過及び結果

定款第21条の規定に基づき、出席した評議員の互選により山口浩司評議員が議長に就任した。議長より本評議員会の成立が報告された後、議事に入り、以下のとおり議案が審議された。

■ 議案第 4 6 号

「令和 6 年度事業計画及び収支予算（案）の承認について」

議長

これより議事に入ります。

議案第 4 6 号「令和 6 年度事業計画及び収支予算（案）の承認について」を議題といたします。事務局の説明を求めます。

事務局

令和 6 年度の事業計画をご説明します。今年もよりよい施設管理と自主文化事業を行う計画です。

議案書をご覧ください。1～3 ページは、公益目的事業を分類して記載しています。

(1) 鑑賞型事業、(2) 創造型事業など事業例をあげております。7 年度が開館 4 0 周年ですので、その前年度にあたる 6 年度は、より多くの市民の参加を促し、再来年度の記念事業につなげたいと計画しています。とくに力を入れたいカテゴリーは、2 ページの (4) 育成型事業です。子どもの鑑賞、体験を、より豊かなものにしたい、また、吹田の 2 0～3 0 代の若い方々の創造の場、表現の場をつくり、人材育成につなげたいと取り組むものです。おもな事業としては、ティーンズクラシックフェスティバルや小学校に出張するアウトリーチ事業、また、オープンしたばかりの S U I T A × A R T でのイベントは、年間 1 5 回ほど実施する予定です。S U I T A × A R T 企画では、これまでご縁が薄かった若い方、障がいのある子どもなど、いろいろな市民に来てもらえるよう企画していきます。

先へ進みまして、5～7 ページは、自主事業・共催事業を、おおむね開催日順に記載しています。6 ページをご覧ください。2 行目、9 月 1 日のバレエ公演は、2020 年に亡くなった振付家の深川秀夫さんの作品をまとめて上演する日本で初めての公演を企画したものです。深川さんは、ヨーロッパで活躍後、ローザンヌバレエコンクールの審査員などで著名な方で、メイシアターには貸館事業で 1 5 年来、毎年来ていました。このご縁で回顧公演を吹田でやりましょうということになりました。吹田のバレエ教室の若手から新国立劇場のダンサーが結集したメイシアターならではの公演になります。3 行目には、吹田のアーティストワンコインコンサートがあります。吹田在住の実演家をマッチングして企画する地産地消的な公演で、6 年度も吹田ゆかりのアーティストを発掘して公演やアウトリーチ事業を積極的に行います。7 ページ 4 行目、3 月 2 日の関西フィル公演は、企業の協賛をいただいて開催します。

7～9 ページは、吹田市からの受託事業を記載しています。8 ページ中段、パントマイムワークショップをはじめて行います。小学生に身体表現の面白さを体験してもらおうという企画です。8 ページ下から 4 行目、5 大学公園フェスは、公園も S U I T A × A R T も使い、たくさんの吹田の大学生と一緒に音楽イベントをやろうという企画です。

10 ページには情報発信型事業を記載しています。メイシアターの活動を情報発信することは、ここ一年、力を入れていることのひとつで、6 年度も SNS に動画を多用し、若い人にイベントのバックヤードの様子、メイシアターの内側を発信したり、アウトリーチ活動の写真報告などでメイシアターの価値を発信します。また、無料告知の手段として、たとえば、阪急の駅貼りや新聞イベント欄などでの発信を重ねて、よりたくさんの市民のみなさんの参加を促します。以上、6 年度の事業計画でございます。

令和 6 年度の収支予算書については、基本的には 5 年度と同等の予算規模となっており、特段、大きな変化はありませんので、ピンポイントで要点を説明いたします。

11 ページ、収支予算書の①基本財産運用益は、前年度 543,000 円に対して 6 年度は 2,600,000 円を計上しております。これまで、100,000,000 円を 0.6% の利率で国債運用しておりましたが、償還を迎えたため、新たに基本財産の全額 200,000,000 円を利率 1.3% の国債で運用することを検討しておりまして、その場合の運用益を計上しているものです。

次に、②事業収益 10 負担金収益は、前年度 2,151,000 円に対して 6 年度 4,289,000 円、③受取補助金等 01 文化事業助成金収益は、前年度 2,750,000 円に対して 6 年度 0 円、これを併せて説明いたしますと、公的な助成金を受けるものを文化事業助成金収益に予算計上しており、事業課長からも説明のあった関西フィル公演の協賛金については、公的な助成金ではなく、阪急電鉄からの企業協賛金を得るということになりますので、このような予算計上となっております。これは、メイシアターの長年の実績が評価されて協賛金を得られたものと考えております。

収支予算書については以上ですが、次に、資料として配布しております旧会計基準による収支予算書をご覧ください。これは、実際の現金の出入りに着目して予算書を作成したもので、3 ページ左下の当期収支差額 0 円、前期繰越金 6,716,000 円を 7 年度に繰り越すという予算となっております。令和 7 年度に 40 周年を迎えることとなりますので、メイシアターの限られた財務資源については、6 年度におきましては収支バランスをとったうえで、40 周年に向けて集中して投入していきたいと考えている予算書となっております。以上で、説明を終わらせていただきます。

議長

説明が終わりました。それでは、議案第 46 号についてご質問、ご意見をお受けいたします。

評議員 A

この SUITA×ART について、ホームページなどで事前に確認をして、今後の活用方法等も見ました。若い人に使ってもらおうということですが、当面は予定されている主催事業だけということですか。使いたいという人が参加できるのはいつからなのか。すでに受付は開始しているのですか。

事務局

今年の10月から一般の人に事業をしてもらえるように、7月から募集を広めていきます。それまでは、プレとしてメイシアターや吹田市主催の事業を行っていきます。

評議員A

今後、多くの若い人の活躍の起点として、多くの若い人にリーチしていかないといけない。知ってもらおうということ。現状で、SNSとか「メイシアターいんふおめーしょん」とかあるだろうけど、どのようなところが広報戦略として一番大きいと考えていますか。

事務局

若い人ということなので、SNSが中心になります。みんなに拡散してもらえるようにということで、プレ企画で使ってもらった人にもそうしましたが、このフォトスポットで必ず自分たちの記念撮影をして、それを報告、発信していき、そのシェアをお願いしていく、そのようなことが主軸になっています。

評議員A

基本的には、催しをした人からのリーチということだと思いますが、そこから、メイシアターに来て、やろうとなった時に、受皿になるところがInstagramであれば、そのアカウントに来てもらうというようにしないと、元々の情報にたどり着くのは難しいと思います。「SNS（X、Facebook、LINE、メルマガ）を活用した情報発信」とありますが、SNSとしては弱いのではないかと考えていて、少なくともInstagramは使っていないと。タグ付けとかもしてもらえるので。YouTube等もほしいですが、Instagramは、ここの活用にあたっては最低限必要になってくると思うので、ぜひやってもらいたい。私もお手伝いしますので。バックヤードの情報発信なども、30秒ぐらいの動画を撮ってアップするだけでも効果があると思うので、前向きに検討してもらいたいと思います。

事務局

わかりました。ありがとうございます。

評議員B

収支予算書を見ると、補助金がなくなった分、負担金の収入でいけている、それで問題ないとは感じていますが、今後、国や自治体からの補助金はなくなっていく方向なのか、事業を継続していくのに負担金、企業からの協賛金などが比較的に見込めるものなのか、見通しを聞かせてほしい。

事務局

公的な助成金については、基本的には赤字の半額補填というものになります。助成金申請をするには、そもそもの財務体力がないとしづらいという状況があります。コロナの時期には全額補填というものもありましたが、コロナも収束し、通常の助成金の形に戻っています。その状況にあつては、赤字の半額補填よりは、企業協賛金として受け取った全額を公演に回せるほうが、財務的にメリットが大きいということで予算編成をしています。今後の見通しとしては、財務体力が回復し、助成金を受けるにふさわしい事業を行うとみれば助成金を申請しますし、協賛金を含めて収益を考えて進めていくものと思っています。

評議員B

どちらかというと、補助金にあがっているというのはあまりよくないことであった、赤字を埋めるということであつていたものだと。

事務局

公演を行って、いくらかの赤字になれば、その赤字額の半額を補填するということで、必ず赤字額が残るということです。赤字を出しても運営できるだけ、カバーできるだけの収益が確保されて、はじめて公的助成金が申請できる、それが、「財務的な体力がない」という説明の意味です。自主事業の原資となるおもな収益がレストラン業務収益なのですが、改修や地震、コロナが続き、レストランが撤退することとなりました。新しいレストランが入りましたが、大きな売上であつたレセプションホールでのパーティ売上については、コロナ収束後も十分には復活しておらず、助成金を得て発生する赤字額をカバーする収益体制が整わないうちは、公的な助成金を申請するのは難しい状態が続くと認識しています。

評議員B

今後、頑張れば何とかなるという見通しであれば、何も言うことはありません。

事務局

レストランの収益については、新しいレストランがオープンしたのがコロナ禍にあつた時期なので、ほぼ売上がない状態でした。それ以降、レストラン本体は、まだ十分ではありませんが、パーティが伸びてきましたので、売上が前年の倍程度あります。予算については、5年度43万円ほどの計上に対し6年度90万円程度、これは、実績を踏まえた予算計上となっていますので、回復傾向にあると認識しています。

評議員B

わかりました。

評議員 A

レストラン業務収益ですが、最終的にはどれぐらいで落ち着くのか。ちゃんと運営された場合の収入のアベレージを想定しているのであれば、教えてください。

事務局

アベレージの想定はありませんが、実績から考えますと、300万～400万円ぐらいになるかと。ただ、レセプションホールは、飲食を伴う催し限定で貸し出していたものが、ワクチン接種会場の代替施設としてから、有効利用として会議利用にも貸し出しています。1年前から貸出しをしていますので、先に至るまで飲食を伴わない利用が続くこととなります。今後は、できる限り飲食利用としますが、先ほどの回復の想定は、もう少し年数がかかるかと思っています。徐々にはパーティが増えていきますし、実績も上がってきていますので、想定した金額には近づけていきたいと思っています。

評議員 A

理解としては、館全体としての収益を確保しつつ、戻していこうということですね。わかりました。

議長

他にご質問、ご意見はございませんか。なければ、採決をいたします。議案第43号について、原案どおり承認として異議ございませんか。

評議員全員

異議なし。

議長

異議なしと認め、議案第46号は原案どおり承認されました。

■ その他

議長

その他といたしまして、他に何かあれば受けることといたします。

事務局

それでは、報告1点として、新たに誕生したこの場所「SUITA×ART」につきまして、誕生した経過、これまでの経緯を簡単に説明させていただきます。

この場所は、平成元年（1989年）からレストラン「和食さつき」が営業しておりまし

たが、平成27年9月をもって閉店となりました。

その後、平成29年度の一年間、大規模改修のため休館することが決まっており、大規模改修以降の平成30年度に向けて、この場所の次の展開を検討しました。当初は、それまでに利用者・来場者アンケートで最もリクエストの多かったコンビニエンスストアの出店を模索し、大手コンビニエンスストア事業者数者と交渉をしました。とくに一者には最後まで出店を検討していただきましたが、設置場所が半地下であるという立地的な問題と、一定の患者数、見舞客、医師の勤務数が見込める総合病院と違い稼働率に左右される劇場では安定した売上が見込めないという2点から、出店にこぎつけることはできず、コンビニ誘致は断念せざるを得ない結果となりました。

その後、紆余曲折ありまして、大阪府北部地震の影響による大ホール使用中止に始まり、再度の大規模改修による再度の休館、2階レストラン「ローゼンタール」の令和2年度いっぱいでの閉店など問題が続き、令和2年9月にリニューアルオープンを迎えるも、コロナ禍が続くことで、令和3年4月26日～11月30日の間、メイシアターの集会室、展示室がコロナワクチンの団体接種会場となり、併せて、この場所は医療従事者の控室となりました。

団体接種会場の期間も終え、昨年5月からコロナも第5類に変更になったことで、いよいよ、この場所をどのように展開していこうかと吹田市の方々とも協議を重ねてまいりましたが、コロナ禍が3年以上続いたことで、様々なアーティストが演奏、パフォーマンスの機会、活動等に大きな影響を受けられました。また、鑑賞される方々が劇場に足を運ぶことも大きく減少しました。

そのような中で、市とメイシアターがコロナ禍にあった令和2年度に実施した「動画募集～吹田の応援アーティスト80」において、吹田市には様々なジャンルにおけるアーティストがいらっしゃることもわかりました。そのようなことも踏まえ、コロナ禍の影響を受けた若手アーティストによる演奏の機会、活動等の支援、また、青少年の人材育成を目的に、吹田市在住、出身、在校、在勤、ゆかりのある若いアーティストの発表の場を目的とし、このようなアートをスペースを設置する運びとなりました。なお、名称のSUITA×ART（すいたあと）は、吹田市のSNSの投票で決定したものです。

また、お手元のチラシにも掲載してあるように、若手アーティストの年齢基準を39歳以下としましたのは、関西で活躍されるクラシック、ジャズ、演劇、美術等の様々なジャンルのアーティストに聞き取り調査を行い、そのように決定した次第です。

この3月はプレオープン記念として4本の公演を開催する予定でしたが、誠に残念ながら、3月9日のジャズコンサートは、古谷光広さんが2月27日に急逝されたことを受け、中止とさせていただきました。7日の吹田弦楽四重奏団は、クオリティの高い素晴らしい演奏と満員のお客さまで大変賑わいました。

4月～9月は事業団主催の公演をいくつか行い、10月からは希望者による一般の若手アーティストにも使用していただくことで進めております。

なお、この場所はメイシアターのホール、練習室などの貸館利用の施設ではなく、事業主体の施設として運営してまいります。今後は、このSUITA×ARTが吹田市の若手アーティストの登竜門となるよう、また、若い世代の交流の場として、末永く市民に愛されるスペースとして展開してまいりたいと思います。以上でございます。

議長

SUITA×ARTについて、報告がありました。これについて、ご質問、ご意見はございませんか。

評議員A

吹田市のホールですので、吹田市民に限るということも理解できるのですが、他地域、近隣自治体から一緒に活用したいという声が出てきた場合の検討の余地はありますか。

事務局

例えば、弦楽四重奏で使いたいという場合に、一人が吹田市民であって一人が箕面の人である、この場合はダメかというのと、そうはしない。吹田市の人が中心となっているところではほしいというのがありますが、必ずしも全員が吹田市の人でないとダメということではないかと、吹田市とも話をしているところです。

評議員A

せっかく綺麗でよい場所だと思うので、吹田に限らず、広域とまではいきませんが、共有財産のような形にしてもらえるとよいのではないかと思います。

議長

ありがとうございます。他にご質問、ご意見はございませんか。ないようですので、以上で本日の評議員会を終わらせていただきます。

6 議事録署名人の選任

審議に先立ち、議長より定款第25条第2項の規定に基づき議事録署名人の選任について出席評議員に諮ったところ、議長一任の発言があり、異議なく承認された。

議長は、櫻井和子評議員及び森俊弥評議員を指名し、異議なく承認された。

7 議事録作成者

常務理事・事務局長 芦田 稔

以上、定款第25条第2項の規定に基づき、議長及び議事録署名人は、この議事録に次のとおり記名押印する。

令和6年3月27日

議長 山口 浩司 

議事録署名人 櫻井 和子 

議事録署名人 森 俊弥 

公益財団法人 吹田市文化振興事業団

令和 5 年度 第 2 回 評議員会

日時 令和 6 年 3 月 2 7 日（水）午前 1 1 時から正午まで

場所 吹田市文化会館 1 階 ^{す い た あ と}**SUITA**×**ART**（旧「和食さつき」）

議題 議案第 4 6 号 令和 6 年度事業計画及び収支予算（案）の承認について

その他

議案第46号

令和6年度（2024年度）事業計画及び収支予算（案）の承認について

令和6年3月27日提出

公益財団法人吹田市文化振興事業団
理事長 河内幸枝

I 令和6年度事業計画

メイシアターの指定管理者として効果的・効率的な施設管理に取り組むとともに、公益目的事業を推進し、多彩な自主文化事業に取り組みます。

令和6年度は、新たに吹田の若いアーティストの発表の場 **SUITA×ART**（すいたあと）がオープンし、この活用をスタートするなど、以下の事業活動を行います。

1. 公益目的事業

＜市民の文化活動の振興を図る事業＞

市民の文化活動の振興を図り、個性豊かな地域文化の創造に寄与することを目的とします。

(1) 鑑賞型事業

市民の多様なニーズに応えるよう多彩なジャンルの質の高い事業を提供し、多くの市民が文化芸術を鑑賞できる機会をつくります。高齢者、障がい者、青少年など多くの市民に親しんでもらえるよう事業形態を工夫します。

〔主な事業〕

■大阪フィルハーモニー交響楽団 七夕コンサート

質の高いコンサートを安価で鑑賞できる機会。

■法村友井バレエ団「シンデレラ」

質の高いバレエ公演を安価で鑑賞できる機会。

■メイシアター文楽

吹田在住の人形遣い吉田一輔、簗悠親子が主演する鑑賞初心者向きの文楽公演。

■燐光群 演劇公演

高い芸術性と硬質の社会性を併せ持つ新作の上演。

■公園ライブ

より身近な環境で生演奏に触れてもらう機会。市内5大学の音楽サークルが結集するフェスティバルも開催。

(2) 創造型事業

事業企画の専門知識やネットワークを生かした独自の事業を企画・制作します。また、地域の人材を生かした事業により地域の活性化、魅力向上に繋がります。

〔主な事業〕

■演劇「智恵子（仮）」

関西で活躍中の演劇関係者を起用し、独自の演劇作品を創造します。

■深川秀夫バレエの世界

世界的に活躍した振付家が遺した多彩な演目を継承するため、一流のダンサー、スタッフが集結。

(3) 市民参加型事業

体験を通じて市民の文化芸術に対する興味を深めてもらい、市民が主役となって関わり自己実現できる場をつくります。創作活動において世代や価値観の垣根を超えた交流を促し、豊かな地域コミュニティづくりに寄与します。

〔主な事業〕

■関西フィルハーモニー管弦楽団 吹田市民の第九

小中学生から80歳代までで構成する200名の市民合唱団が、吹田出身の合唱指導者のもと練習を重ね、オーケストラと共演。

■千里金蘭大学共同事業 ファミリーミュージカル

公募による小学生から大学生、60歳代までの市民40名が、プロの演劇関係者と約30日間の稽古を経てミュージカルを上演。創作活動の中で参加者が繋がりを深めます。

■芸術芸能フェスティバル

市民に舞台発表の機会を提供する事業。地域で活動する器楽演奏、舞踊など15団体を公募し市民にお披露目します。

(4) 育成型事業

青少年の成長に資することを目的とした子ども向けの鑑賞事業、体験事業を継続的に実施します。地域における次世代の実演家、指導者、アートマネジメント人材の育成にも取り組みます。

〔主な事業〕

■ティーンズクラシックフェスティバル

吹田の青少年を対象にした学べるクラシック音楽コンクール。受賞者コンサート、公開レッスンや合唱練習、吹奏楽クリニックも。

■青少年育成事業 小学校アウトリーチ事業

小学校に吹田ゆかりのアーティストを派遣する音楽、演劇、能楽の体験講座。

■若手アーティスト育成事業

吹田の若手アーティストの発表の場として新設された **SUITA×ART**（すいたあと）で、コンサート、アートイベント、パフォーマンスライブ、ワークショップを開催。

(5) 連携型事業

より多くの市民を巻き込み、地域に密着した事業を拡大することを目的として、市内の民間団体、企業、大学、行政等と連携して事業を行います。

〔主な事業〕

■吹田市医師会懇談会イベント（民間団体との連携）

■スプラッシュパーティ（企業との連携）

■夏休み子供劇場（行政との連携）

■吹田市文化功労者表彰式典（行政との連携）

(6) 情報発信型事業

文化事業の情報提供や施設使用状況の公開など、市民の文化活動に資する情報提供に取り組みます。市民と文化芸術との接点を増やせるよう多様な媒体を活用します。

〔主な事業〕

■ホームページ、SNSの活用

■情報紙「メイシアターいんふおめーしょん」の発行

■デジタルサイネージの運用

■チラシ、ポスターの掲出

(7) 施設管理事業

これまでの実績を生かして一層の市民の文化の向上を図り、以下の方針にてメイシアターの管理運営を行います。

〔管理運営方針〕

■平等利用の確保

■個人情報保護、情報公開

■施設の利用促進

■安全対策

■経費の節減

■環境への配慮

2. 収益事業

＜市民の文化活動の振興に資する事業＞

公益目的事業に資することを目的に、以下の事業を行います。

(1) レストラン業務委託事業

レストラン「**CAFE DINING VALORE.** (バローレ)」を運営し、売上の一部を収益とするものです。とくにパーティーの利用を促進するなど事業者と連携・協力して業績の向上に努め、業務収益の増を図ります。

(2) 広告掲載受託事業

月間情報紙「メイシアターいんふおめーしょん」などに広告を掲載し、掲載料を得るものです。引き続き収益の確保に努めるとともに、広告掲載の拡大を図ります。

(3) 自動販売機設置事業

オリジナルラッピングをした飲料自動販売機6台（災害対応型）を設置し、売上の一部を収益とするものです。引き続き安定的、継続的に収益を確保していきます。

令和6年度（2024年度）公益目的事業一覧

<自主事業・共催事業>

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
令和6年 4月 7日(日)	大ホール	スーパークラシック アンサンブル	1	吹田市在住のヴァイオリニスト堀江恵太を中心とした若手弦楽奏者20人のアンサンブル。	(4) 育成型 共催事業
5月 5日(日)	大ホール	TATUYA ISHII スペシャルツアー 「MESSAGE II」	1	米米CLUBボーカリスト石井竜也のコンサートツアー。	(1) 鑑賞型 共催事業
5月18日(土)	大ホール	ポラリス国際音楽祭 プレ企画vol.1 ワンコインコンサート	1	ピアノ／岡原慎也 クラリネット／エマニュエル・ヌヴェー他	(1) 鑑賞型 共催事業
5月19日(日)	中ホール	桂米朝一門会	1	桂南光、桂文之助、月亭八光 他	(1) 鑑賞型 自主事業
6月	帝国 ホテル	吹田市医師会 夏季懇談会イベント	1	吹田市医師会主催事業。ミニコンサートを実施。	(5) 連携型 自主事業
7月 4日(木)	中ホール	和太鼓松村組	1	和太鼓にマリンバやオカリナなど民族楽器を融合させ独自の音楽を追求する松村組のコンサート。	(1) 鑑賞型 共催事業
7月18日(木)	小ホール	ポラリス国際音楽祭 プレ企画vol.2 「メシアターから世界へ」	1	ピアノ、フルートなど若手演奏家8名の入場無料コンサート。	(1) 鑑賞型 共催事業
7月23日(火) ～25日(木)	中ホール	HPF高校演劇祭	3	大阪府下2劇場と連携して行う“高校演劇の甲子園”。メシアターでは3校の演劇部が出演。	(4) 育成型 共催事業
8月 3日(土)	大ホール	<市民平和のつどい> ワンコインコンサート	1	吹田ゆかりの若手演奏家によるクラシック音楽のワンコインコンサート。	(4) 育成型 自主事業
8月24日(土)	小ホール 集会室	よってよって パペットカーニバル	2	プロ、アマの人形劇団が夏休みに開催する人形劇祭。子どもも作品づくりに参加する。	(4) 育成型 共催事業
8月26日(月)	小ホール	関西歌劇団新進歌手による ソロコンサート	1	関西歌劇団準団員がオペラアリアと日本歌曲を披露する。	(1) 鑑賞型 共催事業
8月 令和7年3月	ロビー	吹田ジュニアオーケストラ ロビーコンサート	2	正午から開催する子どもの弦楽アンサンブルコンサート。 指揮／阪哲朗、金関環	(4) 育成型 共催事業

公演日	場 所	公 演 名	公演 回数	内 容	事業 分類
8月	EXPOCITY 空の広場	スプラッシュパーティ	1	近畿日本ツーリストと協力して実施するスプラッシュパーティ、ライブイベント。	(5) 連携型 自主事業
9月 1日(日)	大ホール 展示室	バレエ公演 深川秀夫バレエの世界	2	振付家深川秀夫の初の回顧公演。 出演／中村祥子、厚地康雄、米沢唯 他 指揮／守山俊吾	(1) 鑑賞型 共催事業
9月 8日(日)	大ホール	吹田のアーティスト ワンコインコンサート	1	ヴァイオリン／高木和弘 ヴィオラ／田中佑子 他	(1) 鑑賞型 自主事業
9月15日(日)	中ホール	桂米團治独演会	1	吹田在住、五代目桂米團治による落語会。	(1) 鑑賞型 自主事業
9月21日(土) 22日(日)	大ホール	関西歌劇団オペラ公演 「カヴァレリア・ルスティカーナ」 「道化師」	2	指揮／牧村邦彦 演出／井原広樹 管弦楽／大阪交響楽団	(1) 鑑賞型 共催事業
9月23日(月)	大ホール	グレートジャズシリーズ	1	関西のジャズ奏者が集う恒例のチャリティージャズコンサート。	(1) 鑑賞型 共催事業
10月19日(土) 20日(日)	大ホール 中ホール 他	ポラリス国際音楽祭	11	国内外の一流音楽家と子ども、市民が会えるコンサート。出演／マルティヌス・弦楽四重奏団、岡原慎也 他	(1) 鑑賞型 共催事業
10月29日(火)	中ホール	シネオペラ 「パヴァロッチ 太陽のテノール」	2	没後13年のテノール歌手の圧倒的歌声とカリスマ性を堪能できるドキュメンタリー映画。	(1) 鑑賞型 共催事業
11月 4日(月)	小ホール	古川忠義ギターコンサート	1	大阪を拠点に活躍するギタリストのソロコンサート。クラシック、ジャズなど幅広いレパートリーを演奏。	(1) 鑑賞型 自主事業
11月30日(土) 12月 1日(日)	大ホール	関西二期会オペラ公演 「こうもり」	2	指揮／鈴木恵里奈 演出／太田麻衣子 管弦楽／日本センチュリー交響楽団	(1) 鑑賞型 共催事業
12月21日(土) 22日(日)	中ホール	燐光群演劇公演	2	坂手洋二作・演出、芸術性と社会性を両立した演劇作品。	(1) 鑑賞型 共催事業
令和7年 1月12日(日)	中ホール	人形劇団クラルテ 「パンどろぼう」	1	親子で楽しめる人気絵本シリーズの人形劇。	(4) 育成型 共催事業
1月13日(月)	中ホール	桂春蝶落語会	1	吹田出身の落語家三代目桂春蝶の芸歴30周年記念公演。	(1) 鑑賞型 自主事業

公演日	場 所	公 演 名	公演 回数	内 容	事業 分類
1月26日(日)	中ホール	メイシアターメイトのつどい 映画会	2	メイシアターメイト会員対象の映画鑑賞会。	(1) 鑑賞型 自主事業
1月	リーガ ロイヤル ホテル	吹田市医師会 新春懇談会イベント	1	吹田市医師会主催事業。ミニコンサートを実施。	(5) 連携型 自主事業
2月19日(水) ～23日(日)	中ホール	大阪劇団協議会 プロデュース公演	5	大阪劇団協議会加盟の12劇団が総力を結集して上演する演劇公演。	(1) 鑑賞型 共催事業
3月 2日(日)	大ホール	関西フィルハーモニー管弦楽団 新春コンサート	1	指揮／藤岡幸夫指揮	(1) 鑑賞型 自主事業
3月22日(土)	中ホール	わらび座ミュージカル 「ゴホン！といえば」	2	マキノノゾミ脚本・演出作品。 龍角散のルーツ、秋田藩秘伝の薬をめぐる物語。	(1) 鑑賞型 共催事業
通年	SUITA × ART すいたあと	SUITA×ART (すいたあと) 若手アーティスト育成事業	5	コンサート、リーディング、ワークショップなど。	(4) 育成型 共催事業

<受託事業>

公演日	場 所	公 演 名	公演 回数	内 容	事業 分類
令和6年 4月21日(日)	SUITA × ART すいたあと	<若手アーティスト育成事業> 阿部宏美のすてきな絵本	2	阿部宏美（フリーアナウンサー） 神尾夏希（ピアノ） (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
4月27日(土) ～令和7年1月	練習室	すいたティーンズクラシック フェスティバル メイシアター少年少女合唱団	12	吹田市在住の小4～高3の25人による合唱団。月1回練習を実施。 講師／高木ひとみ (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
5月	小学校	<青少年育成事業> 小学校アウトリーチ事業 出張コンサート	3	小学校の音楽室へ吹田の若手演奏家が出張。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
5月～7月	SUITA × ART すいたあと	<若手アーティスト育成事業> ピアノ解体ショー	3	チェンバロからモダンピアノまで ピアノの歴史を学べる子ども向け 解体ショー。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
6月29日(土)	大ホール	<吹田市民劇場> 大阪フィルハーモニー交響楽団 セタコンサート	1	指揮／松本宗利音 曲目／調整中 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
7月29日(月) 30日(火)	小ホール	<青少年育成事業> 人形劇団みのむし ×人形劇団ココン	2	芸術性の高い人形劇を親子で楽しんでもらう公演。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型

公演日	場 所	公 演 名	公演 回数	内 容	事業 分類
8月 2日(金)	中ホール	＜市民平和のつどい＞ 「落語と浪曲の夕べ」	1	落語と浪曲で平和の尊さを伝える 事業。 (人権平和室)	(1) 鑑賞型
8月 4日(日)	大ホール	＜市民平和のつどい＞ 平和コンサート	1	幅広い世代に人気の著名歌手による コンサート。 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
8月 8日(木)	中ホール	＜市民平和のつどい＞ 夏休み子供劇場	2	子どもを対象にした無料演劇公演。 (青少年室)	(5) 連携型
8月～9月	リハーサル室 他	すいたティーンズクラシック フェスティバル 審査員による公開レッスン	3	市内の十代の青少年を対象にした ピアノ、弦楽、歌の公開レッスン。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
10月	いずみの園 公園	＜ミュージックストリート＞ メシアター公園ライブ	1	日頃メシアターに縁のない市民 にも生演奏に触れてもらい、地域に 賑わいを生む屋外ライブ。 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
10月～11月	練習室	＜青少年育成事業＞ パントマイムワークショップ	4	小学校低学年を対象にした体験講 座。 講師／谷啓吾 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
10月～11月	中ホール	＜青少年育成事業＞ 和太鼓ワークショップ	4	小学生～高校生を対象にした体験 講座。 講師／政本憲一 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
10月～12月	リハーサル室 他	＜吹田市民劇場＞ 吹田市民の第九 合唱レッスン	5	一般公募による市民合唱団の合唱 練習。 講師／清原邦仁 他 (文化スポーツ推進室)	(3) 市民 参加型
11月 3日(日)	レセプション ホール	吹田市文化功労者表彰式典	1	文化振興に功績のあった市民を表 彰する式典。 (文化スポーツ推進室)	(5) 連携型
11月 3日(日)	いずみの園 公園 SUITA×ART	＜ミュージックストリート＞ 5大学公園フェス	1	文化の日に、館内外に地域に賑わい を生む屋外ライブ。 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
11月 3日(日)	ロビー	すいたティーンズクラシック フェスティバル メシアター少年少女合唱団 ロビーコンサート	1	文化の日に、館内外に地域に賑わい を生むロビーコンサート。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
11月26日(火)	中ホール	＜吹田市民劇場＞ メシアター文楽	1	吹田在住の吉田一輔、吉田養悠親子 主演の文楽公演。 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
11月	中学校	すいたティーンズクラシック フェスティバル ブラスクリニック	9	市内中学校吹奏楽部員約100人を 対象にしたプロ奏者が講師を務め る楽器別クリニック。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型

公演日	場 所	公 演 名	公演 回数	内 容	事業 分類
12月15日(日)	大ホール	第15回 すいたティーンズクラシック フェスティバル	2	市内在住・在校の十代の青少年を対象にしたクラシック音楽のコンクール。予選／11月10日(日) (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
12月22日(日)	大ホール	＜吹田市民劇場＞ 吹田市民の第九 関西フィルハーモニー管弦楽団 スペシャルコンサート	1	公募による市民合唱団と藤岡幸夫指揮の関西フィルとの共演。市内中学校合唱部も参加。 (文化スポーツ推進室)	(3) 市民参加型
12月	小学校	＜青少年育成事業＞ 小学校アウトリーチ事業 能楽ワークショップ	2	吹田在住の能楽師林本大が能楽を紹介するアウトリーチ事業。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
12月	小学校	＜青少年育成事業＞ 小学校アウトリーチ事業 演劇ワークショップ	2	小学生を対象にした演劇体験、コミュニケーションワークショップ。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
令和7年 1月 5日(日)	中ホール	すいたティーンズクラシック フェスティバル フレッシュコンサート	1	受賞者によるピアノ、ヴァイオリン、声楽などのコンサート。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
1月18日(土)	中ホール	芸術芸能フェスティバル	1	吹田市民を対象に出演者を公募する舞台の祭典。 (文化スポーツ推進室)	(3) 市民参加型
1月～3月	千里金蘭 大学 中ホール	＜吹田市民劇場＞ 千里金蘭大学共同事業 ファミリーミュージカル ワークショップ	5	千里金蘭大学の学生と幅広い世代の市民を対象にした演技・歌・ダンスのワークショップ。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
2月 8日(土) 9日(日)	小ホール	＜吹田市民劇場＞ SHOW劇場 「智恵子(仮)」	4	作／高橋恵 演出／上田一軒 出演／調整中 (文化スポーツ推進室)	(2) 創造型
3月 9日(日)	大ホール	＜吹田市民劇場＞ 法村友井バレエ団 「シンデレラ」全幕	1	親子で楽しめる質の高いバレエ公演。 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
3月15日(土) 16日(日)	中ホール	＜吹田市民劇場＞ 千里金蘭大学共同事業 ファミリーミュージカル	3	千里金蘭大学との共同事業。市民参加による創作ミュージカル。 作・演出／片岡百萬両 (文化スポーツ推進室)	(3) 市民参加型
3月20日(木)	いずみの園 公園	＜ミュージックストリート＞ メイシアター公園ライブ	1	春分の日、地域に賑わいを生む屋外ライブ。 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
通年	SUITA × ART すいたあと	＜若手アーティスト育成事業＞ タイトル調整中	5	若手アーティストによるライブ、アート、パフォーマンスイベントや子ども向け体験講座。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型

<自主事業－情報発信型事業>

事業名	おもな内容
ホームページによる情報発信	イベントの情報、チケットの予約・購入 メイシアターの利用情報、空き状況検索 事業団の情報公開 など
SNS（X、Facebook、LINE、メルマガ）を活用した情報発信	イベントの最新情報（発売、募集など） メイシアターの最新情報
デジタルサイネージの運用	イベントの情報 館内催し物案内 フロアガイド など
メイシアターいんふおめーしょんの発行	イベントの情報 チケットの購入方法 月間イベントカレンダー など
チケット関連サービス	チケット予約・問合せ専用ダイヤル チケット購入ポイント特典サービス（メイシアターメイト）
チラシ、ポスターの掲出	メイシアターのイベントのチラシ、ポスター 他館のイベントのチラシ、ポスター 吹田市の情報 など
市報すいた（吹田市発行）への情報掲載	メイシアター専用紙面（1 ページ） 市内全戸配布（月 1 回）

<施設管理事業>

事業名	内 容
平等利用の確保	条例、規則、マニュアル等の遵守 受付マニュアル、施設管理システム 受付抽選業務
個人情報保護、情報公開	プライバシーマークに準拠した個人情報保護マネジメント 個人情報保護規程、情報公開規程
施設の利用促進	来場者アンケート オンライン化の推進（空き状況検索システム、ネットチケット販売など） スタッフによる利用者支援（舞台技術支援、広報協力など） ロビーのディスプレイ（鏡餅、雛飾り、五月人形、七夕、Xmas ツリーなど）
安全対策	設備等の保守点検 危機管理マニュアル 避難誘導訓練、救命救急講習など
経費の節減	委託業務の効率化、入札等による委託費の適正化 環境経営マネジメントの推進（エネルギー使用の効率化、消耗品の削減など）
環境への配慮	エコアクション 21 に準拠した環境経営マネジメント 環境活動レポート 環境啓発活動（環境イベントへの参加など）

Ⅱ 令和6年度 収支予算(案)

収 支 予 算 書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
①基本財産運用益	2,600,000	543,000	2,057,000
01 基本財産受取利息	2,600,000	543,000	2,057,000
②事業収益	459,075,000	465,490,000	△ 6,415,000
01 施設管理事業収益	398,037,000	408,952,000	△ 10,915,000
02 受託事業収益	39,813,000	39,650,000	163,000
03 入場券販売収益	5,716,000	4,550,000	1,166,000
04 レストラン業務収益	918,000	433,000	485,000
05 友の会会費収益	1,051,000	1,024,000	27,000
06 サービス事業収益	1,739,000	1,533,000	206,000
07 物品販売収益	303,000	361,000	△ 58,000
08 手数料収益	6,609,000	6,236,000	373,000
09 広告料収益	600,000	600,000	0
10 負担金収益	4,289,000	2,151,000	2,138,000
③ 受取補助金等	0	2,750,000	△ 2,750,000
01 文化事業助成金収益	0	2,750,000	△ 2,750,000
④ 寄付金収益	242,000	323,000	△ 81,000
01 寄付金収益	242,000	323,000	△ 81,000
⑤ 雑収益	2,000	2,000	0
01 受取利息	1,000	1,000	0
02 雑収益	1,000	1,000	0
経常収益計	461,919,000	469,108,000	△ 7,189,000
(2)経常費用			
① 自主事業費	20,300,000	19,170,000	1,130,000
04 賃金	25,000	25,000	0
05 福利厚生費	1,000	1,000	0
06 会議費	14,000	14,000	0
07 旅費	110,000	100,000	10,000
08 交際費	40,000	40,000	0
09 通信運搬費	356,000	259,000	97,000
10 什器備品費	300,000	300,000	0
11 消耗品費	500,000	423,000	77,000
12 交通費	51,000	51,000	0
13 修繕費	462,000	462,000	0
14 印刷製本費	2,916,000	2,594,000	322,000
15 光熱水料費	85,000	69,000	16,000
16 賃借料	1,625,000	1,367,000	258,000
17 保険料	50,000	50,000	0
18 諸謝金	500,000	617,000	△ 117,000
19 手数料	1,273,000	900,000	373,000
20 租税公課	54,000	35,000	19,000
21 著作権料	200,000	140,000	60,000
22 負担金	147,000	147,000	0
23 委託費	11,391,000	11,472,000	△ 81,000
24 広告宣伝費	99,000	69,000	30,000
25 公演賄費	100,000	34,000	66,000
30 雑費	1,000	1,000	0

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減
② 施設管理事業費	393,907,000	400,744,000	△ 6,837,000
02 給料手当	105,099,000	103,831,000	1,268,000
03 退職給付費用	3,349,000	13,223,000	△ 9,874,000
04 賃金	0	0	0
05 福利厚生費	18,025,000	17,802,000	223,000
07 旅費	159,000	159,000	0
09 通信運搬費	1,350,000	1,350,000	0
11 消耗品費	4,769,000	4,769,000	0
13 修繕費	12,100,000	12,100,000	0
14 印刷製本費	1,949,000	1,949,000	0
15 光熱水料費	63,646,000	63,646,000	0
16 賃借料	11,070,000	11,070,000	0
17 保険料	205,000	205,000	0
19 手数料	126,000	126,000	0
20 租税公課	13,203,000	14,449,000	△ 1,246,000
22 負担金	96,000	96,000	0
23 委託費	158,761,000	155,969,000	2,792,000
③ 受託事業費	39,813,000	39,650,000	163,000
04 賃金	0	120,000	△ 120,000
05 福利厚生費	0	1,000	△ 1,000
06 会議費	0	0	0
07 旅費	0	1,000	△ 1,000
09 通信運搬費	476,000	492,000	△ 16,000
11 消耗品費	500,000	345,000	155,000
12 交通費	12,000	15,000	△ 3,000
14 印刷製本費	1,476,000	1,316,000	160,000
16 賃借料	2,322,000	2,412,000	△ 90,000
17 保険料	0	10,000	△ 10,000
18 諸謝金	3,647,000	3,002,000	645,000
19 手数料	1,967,000	2,252,000	△ 285,000
20 租税公課	50,000	44,000	6,000
21 著作権料	267,000	380,000	△ 113,000
23 委託費	28,562,000	28,760,000	△ 198,000
24 広告宣伝費	315,000	165,000	150,000
25 公演助費	217,000	318,000	△ 101,000
30 雑費	2,000	17,000	△ 15,000
④ 管理費	9,592,000	9,884,000	△ 292,000
01 役員報酬	1,101,000	1,101,000	0
02 給料手当	5,532,000	5,465,000	67,000
03 退職給付費用	373,000	744,000	△ 371,000
05 福利厚生費	949,000	937,000	12,000
06 会議費	34,000	34,000	0
07 旅費	100,000	100,000	0
08 交際費	11,000	11,000	0
09 通信運搬費	66,000	66,000	0
11 消耗品費	172,000	172,000	0
12 交通費	10,000	10,000	0
14 印刷製本費	55,000	55,000	0
17 保険料	26,000	26,000	0
18 諸謝金	165,000	165,000	0
19 手数料	210,000	210,000	0
20 租税公課	575,000	575,000	0
22 負担金	173,000	173,000	0
24 広告宣伝費	40,000	40,000	0
経常費用計	463,612,000	469,448,000	△ 5,836,000
当期経常増減額	△ 1,693,000	△ 340,000	△ 1,353,000

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,693,000	△ 340,000	△ 1,353,000
一般正味財産期首残高	△ 11,576,223	△ 11,236,223	△ 340,000
一般正味財産期末残高	△ 13,269,223	△ 11,576,223	△ 1,693,000
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	186,730,777	188,423,777	△ 1,693,000

収支予算書 内訳表
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引 消去	合計
	公1	収1			
	市民の文化活動 の振興を図る事業	市民の文化活動の 振興に資する事業			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1)経常収益					
①基本財産運用益	0	0	2,600,000		2,600,000
01 基本財産受取利息	0	0	2,600,000		2,600,000
②事業収益	409,223,900	42,998,700	6,852,400		459,075,000
01 施設管理事業収益	351,380,900	39,803,700	6,852,400		398,037,000
02 受託事業収益	39,813,000	0	0		39,813,000
03 入場券販売収益	5,716,000	0	0		5,716,000
04 レストラン業務収益	0	918,000	0		918,000
05 友の会会費収益	1,051,000	0	0		1,051,000
06 サービス事業収益	1,739,000	0	0		1,739,000
07 物品販売収益	303,000	0	0		303,000
08 手数料収益	4,932,000	1,677,000	0		6,609,000
09 広告料収益	0	600,000	0		600,000
10 負担金収益	4,289,000	0	0		4,289,000
③受取補助金等	0	0	0		0
01 文化事業助成金収益	0	0	0		0
④寄付金収益	242,000	0	0		242,000
01 寄付金収益	242,000	0	0		242,000
⑤雑収益	2,000	0	0		2,000
01 受取利息	1,000	0	0		1,000
02 雑収益	1,000	0	0		1,000
経常収益計	409,467,900	42,998,700	9,452,400		461,919,000
(2)経常費用					
①自主事業費	19,929,000	371,000	0		20,300,000
04 賃金	25,000	0	0		25,000
05 福利厚生費	1,000	0	0		1,000
06 会議費	14,000	0	0		14,000
07 旅費	110,000	0	0		110,000
08 交際費	40,000	0	0		40,000
09 通信運搬費	356,000	0	0		356,000
10 什器備品費	300,000	0	0		300,000
11 消耗品費	500,000	0	0		500,000
12 交通費	51,000	0	0		51,000
13 修繕費	462,000	0	0		462,000
14 印刷製本費	2,695,000	221,000	0		2,916,000
15 光熱水料費	0	85,000	0		85,000
16 貸借料	1,561,000	64,000	0		1,625,000
17 保険料	50,000	0	0		50,000
18 諸謝金	500,000	0	0		500,000
19 手数料	1,273,000	0	0		1,273,000
20 租税公課	53,000	1,000	0		54,000
21 著作権料	200,000	0	0		200,000
22 負担金	147,000	0	0		147,000
23 委託費	11,391,000	0	0		11,391,000
24 広告宣伝費	99,000	0	0		99,000
25 公演賄費	100,000	0	0		100,000
30 雑費	1,000	0	0		1,000

(単位:円)

②施設管理事業費	353,831,600	40,075,400	0	393,907,000
02 給料手当	94,036,000	11,063,000	0	105,099,000
03 退職給付費用	2,977,000	372,000	0	3,349,000
05 福利厚生費	16,128,000	1,897,000	0	18,025,000
07 旅費	143,100	15,900	0	159,000
09 通信運搬費	1,215,000	135,000	0	1,350,000
11 消耗品費	4,292,100	476,900	0	4,769,000
13 修繕費	10,890,000	1,210,000	0	12,100,000
14 印刷製本費	1,754,100	194,900	0	1,949,000
15 光熱水料費	57,281,400	6,364,600	0	63,646,000
16 賃借料	9,963,000	1,107,000	0	11,070,000
17 保険料	184,500	20,500	0	205,000
19 手数料	113,400	12,600	0	126,000
20 租税公課	11,882,700	1,320,300	0	13,203,000
22 負担金	86,400	9,600	0	96,000
23 委託費	142,884,900	15,876,100	0	158,761,000
③受託事業費	39,813,000	0	0	39,813,000
04 賃金	0	0	0	0
05 福利厚生費	0	0	0	0
07 旅費	0	0	0	0
09 通信運搬費	476,000	0	0	476,000
11 消耗品費	500,000	0	0	500,000
12 交通費	12,000	0	0	12,000
14 印刷製本費	1,476,000	0	0	1,476,000
16 賃借料	2,322,000	0	0	2,322,000
17 保険料	0	0	0	0
18 諸謝金	3,647,000	0	0	3,647,000
19 手数料	1,967,000	0	0	1,967,000
20 租税公課	50,000	0	0	50,000
21 著作権料	267,000	0	0	267,000
23 委託費	28,562,000	0	0	28,562,000
24 広告宣伝費	315,000	0	0	315,000
25 公演助費	217,000	0	0	217,000
30 雑費	2,000	0	0	2,000
④管理費	0	0	9,592,000	9,592,000
01 役員報酬	0	0	1,101,000	1,101,000
02 給料手当	0	0	5,532,000	5,532,000
03 退職給付費用	0	0	373,000	373,000
05 福利厚生費	0	0	949,000	949,000
06 会議費	0	0	34,000	34,000
07 旅費	0	0	100,000	100,000
08 交際費	0	0	11,000	11,000
09 通信運搬費	0	0	66,000	66,000
11 消耗品費	0	0	172,000	172,000
12 交通費	0	0	10,000	10,000
14 印刷製本費	0	0	55,000	55,000
17 保険料	0	0	26,000	26,000
18 諸謝金	0	0	165,000	165,000
19 手数料	0	0	210,000	210,000
20 租税公課	0	0	575,000	575,000
22 負担金	0	0	173,000	173,000
24 広告宣伝費	0	0	40,000	40,000
経常費用計	413,573,600	40,446,400	9,592,000	463,612,000
当期経常増減額	△ 4,105,700	2,552,300	△ 139,600	△ 1,693,000

(単位:円)

2. 経常外増減の部					
(1)経常外収益計	0	0	0		0
(2)経常外費用計	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0		0
他会計振替額	2,552,300	△ 2,552,300	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 1,553,400	0	△ 139,600		△ 1,693,000
一般正味財産期首残高	△ 15,052,238	30,899,206	△ 27,423,191		△ 11,576,223
一般正味財産期末残高	△ 16,605,638	30,899,206	△ 27,562,791		△ 13,269,223
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0	200,000,000		200,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	200,000,000		200,000,000
III 正味財産期末残高	△ 16,605,638	30,899,206	172,437,209		186,730,777

令和 6 年度 資金調達及び設備投資の見込みについて

(令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで)

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定はありません。

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む）の予定はありません。

旧会計基準による収支予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
11 基本財産運用収入	2,600	600	2,000	
01 基本財産利息収入	2,600	600	2,000	
12 事業収入	459,075	465,490	△ 6,415	
01 施設管理事業収入	398,037	408,952	△ 10,915	
02 受託事業収入	39,813	39,650	163	
03 入場券販売収入	5,716	4,550	1,166	
04 レストラン業務収入	918	433	485	
05 友の会会費収入	1,051	1,024	27	
06 サービス事業収入	1,739	1,533	206	
07 物品販売収入	303	361	△ 58	
08 手数料収入	6,609	6,236	373	
09 広告料収入	600	600	0	
10 負担金収入	4,289	2,151	2,138	
13 補助金等収入	0	2,750	△ 2,750	
01 文化事業助成金収入	0	2,750	△ 2,750	
14 寄付金収入	242	323	△ 81	
01 寄付金収入	242	323	△ 81	
15 雑収入	2	2	0	
01 受取利息収入	1	1	0	
02 雑収入	1	1	0	
事業活動収入計	461,919	469,165	△ 7,246	
2. 事業活動支出				
21 自主事業費支出	20,300	19,170	1,130	
04 賃金支出	25	25	0	
05 福利厚生費支出	1	1	0	
06 会議費支出	14	14	0	
07 旅費支出	110	100	10	
08 交際費支出	40	40	0	
09 通信運搬費支出	356	259	97	
10 什器備品費支出	300	300	0	
11 消耗品費支出	500	423	77	
12 交通費支出	51	51	0	
13 修繕費支出	462	462	0	
14 印刷製本費支出	2,916	2,594	322	
15 光熱水料費支出	85	69	16	
16 賃借料支出	1,625	1,367	258	
17 保険料支出	50	50	0	
18 諸謝金支出	500	617	△ 117	
19 手数料支出	1,273	900	373	
20 租税公課支出	54	35	19	
21 著作権料支出	200	140	60	
22 負担金支出	147	147	0	
23 委託費支出	11,391	11,472	△ 81	
24 広告宣伝費支出	99	69	30	
25 公演賄費支出	100	34	66	
30 雑費支出	1	1	0	

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備考
22 施設管理事業費支出	397,039	407,145	△ 10,106	
02 給料手当支出	110,631	109,296	1,335	
03 退職手当支出	0	13,223	△ 13,223	
04 賃金支出	0	0	0	
05 福利厚生費支出	18,974	18,738	236	
07 旅費支出	159	159	0	
09 通信運搬費支出	1,350	1,350	0	
11 消耗品費支出	4,769	4,769	0	
13 修繕費支出	12,100	12,100	0	
14 印刷製本費支出	1,949	1,949	0	
15 光熱水料費支出	63,646	63,646	0	
16 賃借料支出	11,070	11,070	0	
17 保険料支出	205	205	0	
19 手数料支出	126	126	0	
20 租税公課支出	13,203	14,449	△ 1,246	
22 負担金支出	96	96	0	
23 委託費支出	158,761	155,969	2,792	
23 受託事業費支出	39,813	39,650	163	
04 賃金支出	0	120	△ 120	
05 福利厚生費支出	0	1	△ 1	
06 会議費支出	0	0	0	
07 旅費支出	0	1	△ 1	
09 通信運搬費支出	476	492	△ 16	
11 消耗品費支出	500	345	155	
12 交通費支出	12	15	△ 3	
14 印刷製本費支出	1,476	1,316	160	
16 賃借料支出	2,322	2,412	△ 90	
17 保険料支出	0	10	△ 10	
18 諸謝金支出	3,647	3,002	645	
19 手数料支出	1,967	2,252	△ 285	
20 租税公課支出	50	44	6	
21 著作権料支出	267	380	△ 113	
23 委託費支出	28,562	28,760	△ 198	
24 広告宣伝費支出	315	165	150	
25 公演助費支出	217	318	△ 101	
30 雑費支出	2	17	△ 15	
24 管理費支出	20,964	7,176	13,788	
01 役員報酬支出	1,101	1,101	0	
03 退職手当支出	18,196	4,408	13,788	
05 福利厚生費支出	30	30	0	
06 会議費支出	34	34	0	
07 旅費支出	100	100	0	
08 交際費支出	11	11	0	
09 通信運搬費支出	66	66	0	
11 消耗品費支出	172	172	0	
12 交通費支出	10	10	0	
14 印刷製本費支出	55	55	0	
17 保険料支出	26	26	0	
18 諸謝金支出	165	165	0	
19 手数料支出	210	210	0	
20 租税公課支出	575	575	0	
22 負担金支出	173	173	0	
24 広告宣伝費支出	40	40	0	
事業活動支出計	478,116	473,141	4,975	
事業活動収支差額	△ 16,197	△ 3,976	△ 12,221	

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備考
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
18 特定資産取崩収入	18,196	4,408	13,788	
01 退職給付引当資産取崩収入	18,196	4,408	13,788	
投資活動収入計	18,196	4,408	13,788	
2. 投資活動支出				
26 特定資産取得支出	999	1,808	△ 809	
01 退職給付引当資産取得支出	998	1,807	△ 809	
02 投資有価証券取得支出	1	1	0	
投資活動支出計	999	1,808	△ 809	
投資活動収支差額	17,197	2,600	14,597	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ 予備費支出	1,000	1000	0	
当期収支差額	0	△ 2,376	2,376	
前期繰越収支差額	6,716	2,376	4,340	
次期繰越収支差額	6,716	0	6,716	

評 議 員 名 簿

令和5年8月28日現在

氏 名	団体名（専門家）
井 原 広 樹	大阪音楽大学客員教授
岡 崎 明 日 香	吹田市文化団体協議会
岡 本 巧	吹二地区自治会連合協議会
小 野 淳	千里金蘭大学
垣 沼 絢 子	大阪大学大学院博士課程修了
川 端 純 也	吹田市医師会
櫻 井 和 子	吹田市社会福祉協議会
丹 羽 野 和 夫	吹田地区労働組合連合会
平 山 浩 美	吹田歴史文化まちづくり協会
森 俊 弥	吹田青年会議所
山 口 浩 司	吹田商工会議所

（五十音順 敬称略）



